

北里学級だよりNo.9

たんぽぽ

2019. 1. 1.



がんばり過ぎないで

～親の思い 子どもの思い～

毎日、入院しているお子さんのために、ずっと付き添っているママやパパ。仕事もあるのに、下の子の世話をしなくてはいけないのに、家族の食事も作らなければならないのに、無理をして毎日面会に来ている…何でもっと早く病気に気づいてあげられなかったんだろう、丈夫な子に育てられなくてごめんね、自分を責めながらベッドの上の子どもを見つめる毎日。本当は辛くてたまらないのに、笑顔だけは忘れないようにいつもがんばっているママとパパ。

一方子どもたちは…早く家に帰りたい、学校へ行きたい、友だちと遊びたい、好きなものを食べたい、そんな子どもらしい自然な気持ちと共に、なかなか元気になれなくてごめんね、迷惑かけてごめんね、パパやママも僕のためにあまり無理しないでね…そんなことを心のどこかで感じています。

入院生活が続く病室の中から、こんなあたたかい親子の無言の会話を感じます。ママもパパも、どうかがんばり過ぎないでくださいね。そして子どもたちも、辛いとき、苦しいときは遠慮なくその心の叫びをぶつけてくださいね。

病院長の岩村先生といっしょに



北里学級は、わがママを言ってもいい場所です。辛いときは泣きましょ。保護者の方も、どうか遠慮なく話をしに来てください。

私たち北里学級の教員は、教室にいる時は、少しでも楽しく過ごせるよう、今年も授業を工夫して参ります。

3 学期始業式

1月9日に、北里学級を設置している双葉小と麻溝台中の校長先生を始め小児病棟の医療スタッフの方や相模原市教育委員会の方にも参列していただき、3学期始業式を行いました。

～参加された先生方から 励ましのメッセージ～



「亥」という漢字には、固い種の中にエネルギーを蓄えるという意味があります。ここで蓄えた力を、これからの成長につなげてください。



亥年は十二支の最後、3学期は学年の最後です。これから活躍するために、今があるのです。早く元気になってください。



私は、新しい時代を担う皆さんを支えるために小児科医になりました。北里学級で楽しく過ごし、多くのことを学んで欲しいです



今日 1/9 は「とんちの日」。「とんち」とはとっさの時にすぐに答を出せる知恵のこと。様々な経験や出会いから、そんな知恵が生まれます

皆さんは、普通は経験できないことを経験しながら成長しています。皆さんのがんばりに私たちも励まされています。

カレンダーをお届け

毎年恒例の、シルクスクリーンによる手作りカレンダーを、院長室を始め北里学級がいつもお世話になっている、病院内の各部署にお届けしました。「ありがとう」「毎年楽しみにしているんだよ」などあたたかく声をかけていただき、入院中の子どもたちにとって大きな励みになりました。